

おらいのトキを目指して



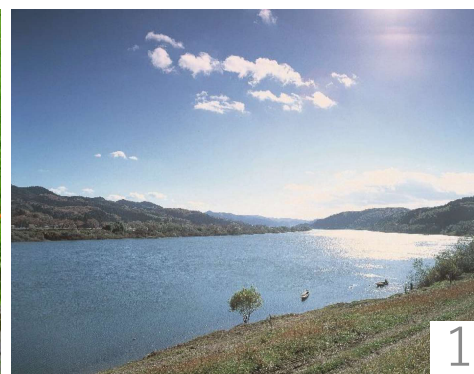
宮城県登米市



宮城県登米市



- 県内有数の穀倉地帯であり、宮城米「ササニシキ、ひとめぼれ」の主産地
環境保全米の生産量は県内随一
- 白鳥、ガンなどが飛来するラムサール条約登録湿地の「伊豆沼・内沼」や、東北最大の流域面積を誇る「北上川」など、多くの水資源に囲まれた水の里



登米市農業の特色について



環境と人にやさしい環境保全米

環境に負担をかけないよう農薬や化学肥料をできるだけ減らし、消費者の皆様や未来を担う子供たちの健康を考え、農家の皆さんが大切に育てています。

環境保全米は、登米市が発祥の地で、市内の8割を超える圃場で実践しています。

登米市では、「ひとめぼれ」や「つや姫」のほか、幻の米といわれる「ササニシキ」も生産しています。



古くから伝わる登米市の郷土料理

古くから伝わる登米市の郷土料理「はっと」。小麦粉を水でねって熟成させたものを薄くのばして茹で上げ、醤油ベースのスープに油麴やネギなどの具材で食べるのが絶品です。

B1グランプリへの出場をきっかけに、一躍有名になった油麴丼も人気です。



畜産農家が手塩にかけた究極の和牛！

登米市では「仙台牛」と「仙台黒毛和牛」の約4割を生産しています。

仙台牛は、A5、B5ランクの牛肉で、口当たりが良くジューシーな肉質で風味を醸し出すオレイン酸が豊富な霜降り牛肉です。



宮城県内第1位の豚肉生産地

登米市では、宮城野ポークや伊達の純粋赤豚、純米豚、ほろ酔い豚、田んぼ豚など、やわらかくうまみが強い豚肉がたくさんあります。

種類が豊富な野菜や果物

県内一の生産量を誇るキャベツやこらのほか年間3,000トン以上を出荷している「サイボーグ009きゅうり」が有名。冬には、すっきりとした甘さが特徴の苺「もういっこ」や「とちおとめ」、夏には、洋菓子の加工用に最適な「すずあかね」などが生産されています。

登米市有機農業の取組～オーガニックビレッジ～

登米市は、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「**ゼロカーボンシティ**」を表明し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。豊かな水と緑に恵まれた本市は、**人と生き物、環境との調和を重視した持続可能な農業を推進**しています。



令和4年には、環境省の「トキと共生する里地づくり取組地域」に指定

有機農業の取組面積 **149ha**（水稻125ha 野菜等 24ha）

県内 **1位**

（県内2位は美里町 92ha）

東北 **2位**・全国 **8位**

（東北・全国1位は秋田県大潟村 298ha）



令和5年度環境保全型農業直接支払交付金実績より

～オーガニックビレッジを推進しています～

令和6年12月に**宮城県内初となるオーガニックビレッジを宣言**しました。

本市農業の強みである環境保全型農業の次のステップとして、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみで取り組む**オーガニックビレッジ**の推進により、生産力の向上と持続性が両立した登米市農業の発展を目指しています。



地域ぐるみで有機農業を推進

学校給食への有機米の提供

有機JAS認証取得支援

有機農産物のPR・販路開拓

前年度の取り組み



トキとの共生を目指す登米市 ～登米市に「おかえりトキ」する日を願って～シンポジウム



画像：環境省Facebookより引用

- ①基調講演「トキと共に持続可能な農業へ」
佐渡市長 渡辺 竜五 氏
- ②事例報告「ガンが渡り、トキも舞う 登米の空」
～ガンにも、トキにも選ばれる地域づくりをめざして～
日本雁を保護する会 会長 呉地 正行 氏
- ③パネルディスカッション「おかえりトキ」する日に向けて

4

今年度(R7)の取り組み

シンポジウム おらいのトキを目指す登米市 ～トキと田んぼ、そしていぐねで子育て～

環境に優しい農業 × いぐね（居久根）

◆開催概要

日 時：2025年12月13日（土）14時～

主 催：（公財）日本鳥類保護連盟

共 催：登米市、オーガニックとめネットワーク、（公財）日本生態系協会、日本雁を保護する会

後 援（予定）：環境省東北地方環境事務所、農林水産省東北農政局、国土交通省東北地方整備局、JAみやぎ登米、宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所

※オンライン配信実施予定

5

おらいのトキを目指して



宮城県登米市